

第9回生涯学習笑顔のつどい実施形態

【資料1】

	トークフォークダンス形式	パネルディスカッション形式	インタビュー対談形式	ワールドカフェ形式
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ○参加者全員が主役となり、発言できる。 ○多くの人と話すことで、いろいろな考えに触れることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○テーマに対し、幅広く発表者を選考することで、いろいろな視点から話を聞くことができる。 ○フロアからの質疑など参加者とのやり取りができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○実践発表をより踏み込んで話を聞くことができる。 ○質問内容を事前に決めることで、内容を深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○参加者が興味ある分野の話を、直接聞くことができる。 ○ローテーションすることでいろいろな話が聞ける。 ○ワークショップ形式も取り入れ、参加者がアウトプットする場面も設定できる。
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ○決めた参加者数がベースとなり、広報での当日の一般参加ができない。 ○経験あるファシリテータが必要となる。 ○一定数の子どもを確保する場合、学校と組むことが理想だが、授業時数との関係もあり、急には難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事前に発表内容を共有・確認しないと、発表者のPRになることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○経験あるインタビュアーが必要となる。 ○発言の一言一言に、インタビュアーがどう反応するかで内容の深まりに差が出る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○複数のスペースが必要となる。 ○発表者の活動紹介をメインで組むか、体験をメインで組むかで内容が違ってくる。
可能性	<ul style="list-style-type: none"> ○次年度に向けて計画的に学校に相談することで、年間計画に位置付けてもらう。 ○ファシリテータの確保。 	<ul style="list-style-type: none"> ○テーマに対し、幅広い発表者の選定。 	<ul style="list-style-type: none"> ○インタビュアーの確保。 	<ul style="list-style-type: none"> ○テーマに対し、幅広い発表者の選定。 ○複数のスペース確保。